

平成29年1月30日

原料費調整制度に基づく平成29年3月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成29年3月検針分の単位料金を、平成29年2月検針分に比べ1m³(45MJ)につき0.84円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成28年10月～平成28年12月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に39m³のガスをお使いになる標準家庭で平成29年2月検針分と比較して、33円(消費税込)ガス料金が上がります。平成29年3月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1か月の ご使用量	料金表A 0～24m ³	料金表B 25～500m ³	料金表C 501m ³ ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,272.54	7,473.90
調整単位料金 (円/m ³)	122.37	101.21	88.82
(参考) 2月 調整単位料金	121.53	100.37	87.98

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量 39m ³ (45MJ/m ³)	平成29年 2月	平成29年 3月	増減
適用料金(円/月)	5,186	5,219	33

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5か年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	平成28年9月～平成28年11月の平均 (2月検針分)	平成28年10月～平成28年12月の平均 (3月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	18,490	19,460	970
LNG	38,680	40,560	1,880
LPG	38,230	42,010	3,780
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	▲ 8,800	▲ 7,800	1,000

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 40,560 \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 42,010 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 19,461.75$$

↓(100円未満四捨五入)

$$19,460 \text{ 円/t}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$19,460 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = \begin{matrix} \text{▲ } 7,890 \\ \text{↓(100円未満切捨て)} \\ \text{▲ } 7,800 \end{matrix} \text{ 円/t}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \begin{matrix} \text{▲ } 7,800 \\ \text{▲ } 7,800 \end{matrix} \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.08424^{*1} \\ &= \begin{matrix} \text{▲ } 6.58 \end{matrix} \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.08424(0.078×1.08)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 39m ³ (45MJ/m ³)	平成29年 2月	平成29年 3月	増減
適用料金(円/月)	5,186	5,219	33

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬地区

本体料金(税込み)=基本料金(1,272.54円)

$$+ \text{調整単位料金}(107.79 \text{円}) + \begin{matrix} \text{▲ } 6.58 \\ \text{↑ 単位料金調整額(税込)} \end{matrix} \text{ 円} \times 39 \text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。